

# 経済社会学会編 ヴェブレンと制度学派

経済社会学会年報・IV

時潮社

## 目次

ヴェブレン論試考——ヴェブレンの経済社会学的思想の背景——	早瀬 利雄……………一
ヴェブレン研究への一視角——ヴェブレンとコモンズ、ミッチェル——	佐々野謙治……………三
ヴェブレンとダーウィン主義——ヴェブレンのアドム・スミス批判をめぐって——	塚本 隆夫……………五
ヴェブレンと限界効用説……………	渡植彦太郎……………七
(特稿) パーソンス社会系論とシャゼルの批判 ——型変数の発見とその体系化——	酒井正三郎……………一〇一
酒井正三郎博士の逝去悼む……………	早瀬 利雄……………一〇二
所有の社会化と管理の民主化……………	青沼 吉松……………一〇六
日本近代化論とH・ノーマン……………	中泉 啓……………一〇九
研究ノート	
ハイデガーとヤスパース……………	古賀勝次郎……………一一九

ヴェブレンと制度学派

(検印廃止)

1982年12月20日 初版第1刷発行

編集代表者 早瀬利雄

発行者 大内敏明

時潮社

〒113 東京都文京区本郷2-12-6 電話 03(811)8024  
振替 東京 5-38910

印刷 白 鷗 舎  
製本 仲佐製本所

© 早瀬利雄 1982年

(分)3033(製)7800(出)3204

Printed in Japan

編集後記

三六

学会記事

三三

書評 奥田和彦著『消費行動』——その社会学的研究

武井 昭……………三八

恩田木工の松代藩経済社会政策

小沼 徹雄……………三三

経済開発と内部発展論のパラダイム

永安 幸正……………三〇七

資本主義経済体制の変動と階級的勢力

向井 利昌……………三〇一

多元社会と経済政策目的

喜田栄次郎……………二五五

パレートにおける民族の周流

伊藤 迪……………二〇〇

シュベングラールとトインビー

武井 昭……………二八五